

施設紹介

公民館、図書館、役場機能が一体となった生涯学習施設で、令和3年度に完成しました。村の木材がふんだんに使われた木造建築で、木の香りがする心地よい施設です。

「あつまる、つながる、やってみる、」というビジョンを掲げ、スタッフは村民の「やってみたい」を叶えるお手伝いをしています。村民は無料で部屋を借りることができ、型にハマらない自由な使い方ができるように、工夫しています。

また、村民が図書館で本を借りたり、講座に参加したりすると、「あわポ」という村内で使えるポイントがたまる仕組みになっています。

村民が「生きるを楽しむ」ための拠点施設を目指しています。

あわくら会館

公式SNSはこちら！
ぜひフォローを！



☆☆☆☆ 公民館の人 ☆☆☆☆

西粟倉村であわくら会館の運営に携わっている
鈴木宙夢（ひろむ）さんを紹介します



千葉県出身で教育やまちづくりの仕事を経て、2023年に西粟倉村に地域おこし協力隊として移住しました。主な仕事内容は、あわくら会館の運営やイベントの企画、図書館の本の選書や展示などです。

今、力を入れていることは、職員みんなの声が運営に反映されるような仕組みを作ることです。日々の取り組みで気になることを話題にするモヤモヤ会を行ったり、職員のスローガンづくりをしたりしました。色々な人が集まる村の中心となる施設なので、あわくら会館に来たら、新たな出会いやつながりがあり、やってみたいが生まれてくる。そんな施設になるように頑張りたいです。

取組紹介

住民が気軽に講師になれる！
村民講師



村民の仕事や特技、好きなことを活かして行われる講座です。講師は自身の特技を披露したり活動を紹介したりすることができ、生きがいにもつながっています。

令和5年度は、「しめ縄講座」「合気道体験会」「整体教室」「瞑想ワークショップ」など、47の村民講師講座が生まれました。

具材を持ち寄り
おにぎり作り！

俺のおにぎりデー



村内の米農家からお米を提供していただき、参加者がおかずや具材を持ち寄って自分でおにぎりを握って食べるというイベントを毎月行っています。

ご飯と一緒に食べる機会を作りたい！でも、飲食を提供するのは衛生管理上難しいということで、この形になりました。

本選びからはじめよう！
読書感想文講座



夏休みに、小学生を対象として二日間にわたって行いました。

一日目は、司書の方に本を選ぶポイントを教えていただき、読む本を決めました。選んだ本は家で読んできてもらい、二日目は書く作業です。頭を悩ませている子もいましたが、アドバイスをもらいながら自分の言葉で書くことができました。

館外貸出もOK！
ボードゲームで繋がり作り
ボドパ！



多くを村民から寄贈していただき、現在は約80種類のボードゲームがあります。これまでは館内の利用のみ貸出をしていましたが2024年9月より条件付きで家に持って帰って遊べるようになりました！

毎月2回開催する「ボドパ！」に参加するとライセンスが付与され、ライセンスの階級に合わせて貸出できる種類や数が増えていく仕組みです。

年に一度の
「生きるを楽しむ」発表会
むらみっけ！文化祭



あわくら会館と文化協会主催の文化祭です。昨年度は「生きるを楽しむ自己表現で、村人が混ざり合う」をコンセプトに、小学生から90代の年長者まで幅広い参加がありました。55の個人や団体が展示、体験、飲食などの形で出展し、盛り上がりました。

今年度も11月2日、3日の二日間でいきます。

情報発信を大切にしています！

動画は、字幕を付けるなどの編集を行い、Instagramに掲載しています。



あわくら会館では、「Facebook (フェイスブック)」「Instagram (インスタグラム)」「note (ノート)」「LINEのオープンチャット」等の様々な媒体を活用し、講座やイベントの情報を積極的に発信しています。告知だけでなく、講座終了後には講座の様子を動画やレポートにまとめて詳しく伝えています。

